

第 12 回（通算 30 回）誠愛院内勉強会

平成 23 年 1 月 25 日

講演タイトル：

「リハビリテーション医療におけるロボット訓練の意義」

講師：

産業医科大学リハビリテーション医学

教授 蜂須賀 研二 先生

専門医：

リハビリテーション科専門医、日本脳卒中学会専門医、整形外科専門医

略歴：

1975 年 慶応義塾大学医学部卒業

1975 年 同大医学部・訓練医／専修医（整形外科・リハビリテーション科専攻）

1979 年 同大病院リハビリテーションセンター・助手

1980 年 同大月ヶ瀬リハビリテーションセンター・助手

1984 年 Peripheral Nerve Center, Mayo Clinic

1986 年 慶応義塾大学病院リハビリテーション科・助手

1987 年 産業医科大学医学部リハビリテーション医学・講師

1991 年 同大助教授

1999 年 同大教授、現在に至る

現時点での脳卒中リハビリテーションに関連したエビデンス、夢のあるロボットリハの現状と将来性、様々な共同研究の結果等を大変分かり易くご解説戴きました。

活発なご質問、ご討議を有り難うございました。先生にご許可を頂戴致しましたので、講演内容の全てについて早速スライドをPDF化し掲載しております。

